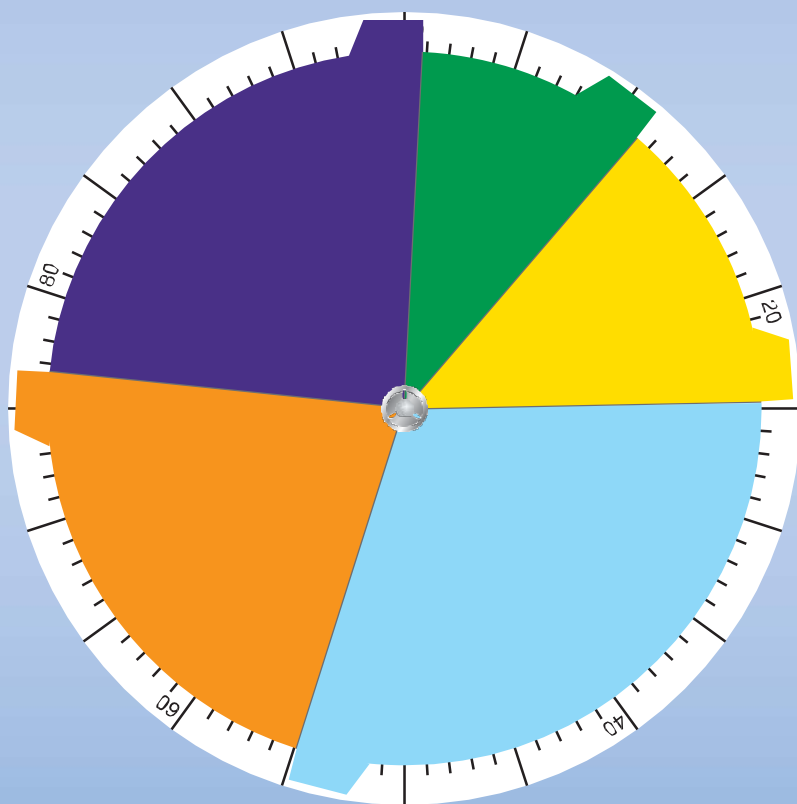


SEIQoL-DW 日本語版(初版)



訳／秋山(大西) 美紀

監訳／大生 定義・中島 孝

Schedule for the Evaluation of Individual Quality of
Life (SEIQoL):
a Direct Weighting procedure for Quality of Life
Domains (SEIQoL-DW)

Administration Manual

Department of Psychology,
Medical School,
Royal College of Surgeons in Ireland,
Mercer Building,
Mercer St,
Dublin 2,
Ireland

Ciaran A.O'Boyle¹, John Browne¹, Anne Hickey¹, Hannah M.
McGee¹, C.R.B. Joyce².

1. Department of Psychology, Medical School, Royal College of Surgeons in
Ireland.

2. University Psychiatric Policlinic, University of Bern, Switerland.

© Department of Psychology, Royal College of Surgeons
in Ireland, 1995.

個人の生活の質評価法（SEIQoL）

生活の質ドメインを直接的に重み付けする方法（SEIQoL-DW）

実施マニュアル

アイルランド ダブリン2 マーサー ストリート マーサービル
アイルランド王立外科大学
医学部 心理学科

訳 ／秋山(大西) 美紀

監訳／大生 定義・中島 孝

Ciaran A.O' Boyle¹, John Browne¹, Anne Hickey¹, Hannah M.McGee¹, C.R.B.Joyce²

1. アイルランド王立外科大学、医学部心理学科
2. ベルン大学、精神科外来診療部（スイス）

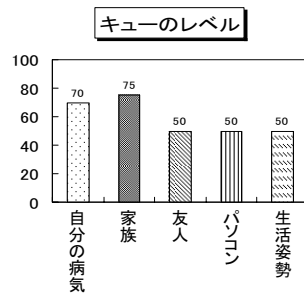
©アイルランド王立外科大学 心理学科（1995年）

難病と緩和ケアのQOL評価 SEIQoL-DW

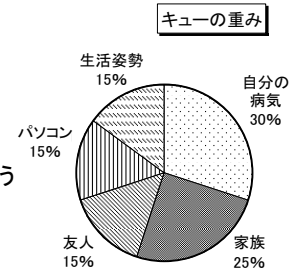
生活の質ドメインを直接的に重み付けする個人の生活の質評価法

The Schedule for the Evaluation of Individual QoL-Direct Weighting (SEIQoL-DW)
難病ケアの質、慢性疾患ケア評価に大変有用と思われるQOL評価尺度 (WHO推奨)

症例はALSの63歳男性、罹病期間2年、ALSFRS-R: 20/40、妻と同居中、
人口呼吸器装着2ヶ月目、独歩、経口摂取、筆談可能、気管切開後在宅に
むけて在宅調整のための入院中。退院前のSEIQoL-DW (日本語版秋山
訳、大生・中島監訳、日本語版事務局国立病院機構新潟病院、中島孝)



患者に重みづけをしてもらう



キュー(分野)	レベル	重み	レベルX重み
自分の病気	70	30%	21.0
家族	75	25%	18.8
友人	50	15%	7.5
パソコン	50	15%	7.5
生活姿勢	50	15%	7.5
SEIQoLインデックス			56.3

患者と面接し、5項目 (Cue) を定義し、
選んでもらうその満足度を主観的に
(VAS) 評価する

それぞれを掛け算し足してSEIQoL indexを算出

O'Boyleらとの国際共同研究

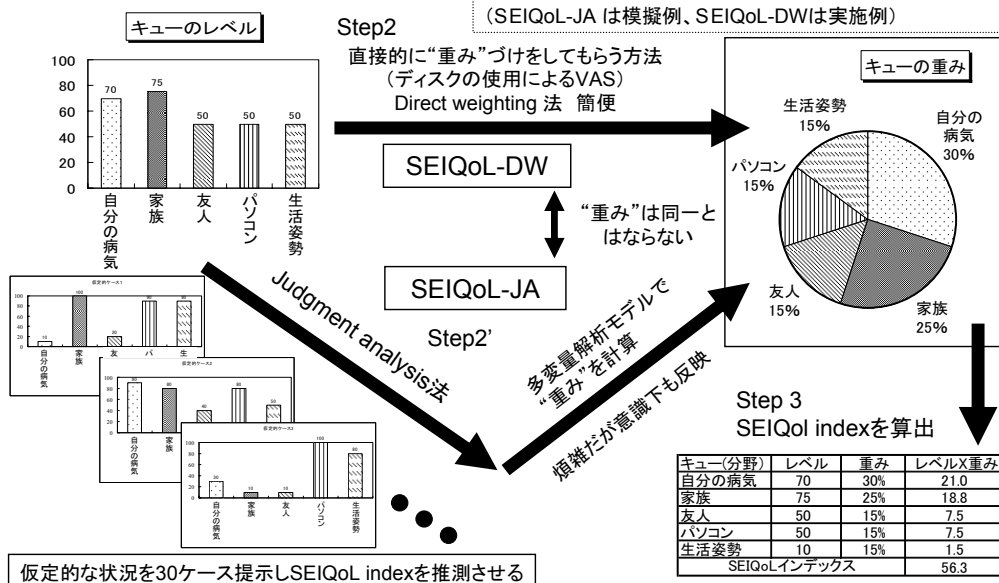
(中島 孝 作成)

SEIQoL (The Schedule for the Evaluation of Individual QoL)

個人の生活の質評価法

Step1 患者と面接し患者の生活の質を決定づけている
5項目 (Domain) を作成、キュー (Cue) とし名づけ、それぞ
れの満足度を主観的に (VAS) 評価する

症例: ALSの63歳男性、罹病期間2年、ALSFRS-R: 20/40、
妻と同居中、人工呼吸器装着2ヶ月目、独歩、経口摂取、筆
談可能、在宅にむけて在宅調整のために入院中。
(SEIQoL-JA は模擬例、SEIQoL-DWは実施例)



(中島 孝 作成)

初版発刊にあたって

個人の生活の質評価法であるSEIQoL (The Schedule for the Evaluation of Individual QoL) はWHOの選んだ10のinstrumentの一つで、他の健康関連QOLと比較するといろいろな面でユニークであり、特に根治が困難な状況におけるQOL評価にも利用可能と期待されている。このQOL評価方法は、見開きの半分の図にあるように、半構造化面接法によって主要なdomainが概念化され、Visual analog scaleにより各domain (CUEキューと称する) のレベルと重み付けをし、さらにglobal indexも測定することができるとされている。

2007年3月下旬に、SEIQoLの原著者のアイルランド王立外科医学院 (Royal College of Surgeons in Ireland) オボイル教授とヒッキー講師を招聘し、本格的なセミナーを行うこととなった。この実現には、監訳者の一人である中島の尽力が多大である。

本スケールは既に秋山翻訳、大生・中島監訳による初版翻訳が出来、中島の勤務先が事務局になり、マニュアルや一緒に使う円盤も電子的に頒布されているが、今回広く普及を目指し、初版を発刊することになった。逆翻訳の手順を済ませ、2005年12月に、中島、大生が原著者と直接面談したさいに、確認がとれている。セミナーなどで理解を深め、日本での実践の状況を含めたモノグラフの刊行も考えている。まずは、初版が、日頃の臨床、患者さん、ご家族のケアに役立つように願っている。

文責 大生定義

謝辞：今回の発刊にあたっては、特定疾患患者の生活の質 (Quality of life, QOL) の向上に関する研究班 (H17-難治-39) の研究費による援助を受けた。

※以前は暫定版と記載しておりましたが、暫定的な内容がないため、記載を初版と改めました。

目 次

1.0	はじめに	1
2.0	SEIQoL-DWの実施	2
2.1	実施方法	2
2.2	実施中におきうる問題	6
3.0	SEIQoLのスコア化	7
3.1	スコアの記録	7
3.2	SEIQoLアウトカムデータを導き出す	7
3.3	データの表示	8
3.4	プロスペクティブ（前向き）研究におけるSEIQoL-DWの 使用について	8
4.0	参考文献	12
付録	記録用紙	巻末

謝辞：

SEIQoLの開発にあたっては、CIBA Geigy株式会社（訳注：本当は有限会社）（スイス、バーゼル）およびアイルランド王立外科大学より資金援助をいただきました。また、各個別研究には、アイルランド保健研究審議会、アイルランド関節炎財団、英国老年医学会、HIVプライマリケアプロジェクトからご援助いただきました。

個人の生活の質評価法

(SEIQoL)

生活の質ドメインを直接的に重み付けする方法 (SEIQoL-DW)

CA O' Boyle, J Browne, A Hickey, HM McGee, CRB Joyce

アイルランド王立外科大学, 医学部心理学科

アイルランド ダブリン 2 マーサーストリート, ロウアー マーサービル

1.0 はじめに

個人の生活の質評価法(SEIQoL, Schedule for the Evaluation of Individual Quality of Life)は、個人の生活の質 (QoL, Quality of Life) を面接に基づいて評価する方法である。SEIQoLの完全版^{*1}(McGee et al.1991^{*2}; O'Boyle et al. 1992^{*3})を行う面接手順ではかなりの時間が必要とされる(10~20分)。そのため、被験者にQoL評価にあたって、ある一定範囲内の複数選択肢やアウトカムを考えさせるようなプロセスの一部として使われるような研究や臨床場面においておもに適しているといえる。SEIQoLは、様々な患者グループに対して実施されてきたが、認知機能や、やる気が損なわれている状態に、SEIQoLを適用することには限界があるようである。SEIQoLを完全に実施するには、生活の質を決定する要因が何かを洞察する力、抽象的な思考力、さらに図示された情報を判断する力がとりわけ必要となる。従ってこのような能力が損なわれている患者にSEIQoLを利用するのは問題となるかも知れない。(コーエン、他 1993年)。

日常の臨床用として、判断分析(JA, Judgment Analysis)^{*1}よりも適切で、また認知機能の落ちた被験者にも負担の少ない方法として、生活の質のドメインを直接的に重みづけする方法(DW, Direct Weighting procedure)がSEIQoLのためにあみだされた。この重みづけ方法についての計量心理学的データは、健康成人母集団で得られている(ブラウン、他 準備中)。

実施方法を次頁に示す：

初版注：*¹SEIQoLの完全版とは多変量解析を使うSEIQoL-JA(Judgement Analysis)であり、30通りの仮想状況の判断から重みを推測するものである。詳細は *² McGee HM, Assessing the quality of life of the individual: the SEIQoL with a healthy and a gastroenterology unit population. Psychol Med. 1991 Aug;21(3):749-59. *³O'Boyle CA, Individual quality of life in patients undergoing hip replacement. Lancet. 1992 May 2;339(8801):1088-91.

2.0 実施

SEIQoLおよびSEIQoL-DWは、半構造化面接によって行われる。面接者はまず、個人の生活の質を決定する最も重要な5つの生活の領域が何かを回答者から引き出す。さらにそれぞれの領域の満足^{*1}の程度（レベル）を記録し、そして、重みづける（DW）ために、提供されたディスク（円盤）を利用して、面接者にそれぞれのQoL領域の相対的な重要性を決定してもらう。

面接にはSEIQoLの面接用紙、SEIQoL-DWディスク、ペン又は消せるタイプのマーカーペンが必要である。

2.1 実施方法

◎ステップ1：導入

回答者に対して次の文を読む。

「私たちのおのおのにとって、人生や生活の喜び^{*2}や満足というのは、自分にとり大切な部分や領域がどうであるかにより決まります。そのような大切なものがあったり、うまくいっていると私たちは一般に幸せを感じ、逆になかったり、うまくいっていないと、不安を感じたり、悲しむことになります。つまり、このような大切な領域により生活の質が決定されているのです。何を大切と考えるかは人によって違います。あなたにとって一番大切と考えているものが私や、あなたの夫／妻／子供／両親／友人（ここにあるすべての近親者を挙げる必要はなく、この中で状況にあうものを1～2挙げる）にとっては、それ程大切でないかもしれません。また、その逆もありえます。」

「私は、この今の瞬間何があなたの生活で最も重要なのかをお聞きしたいと思っています。多くの人々はそんな事柄について考えるのに普通は多くの時間を費やすことはありません。事実、何かが起こってそれらが変化したときに始めて何が大切かに気がつくことがしばしばあるものです。あることがなくなったり、うまくいかなかった時に一番心配になる可能性のある（あるいは心配な）生活の領域を考えると何が重要か見つけやすいこともあるでしょう。」

◎ステップ2：生活の中で5つのもっとも大切な側面（以下これを「キュー」と呼ぶ）を引き出す

回答者に次のように質問する。

「現在あなたの生活の中で、最も重要な5つの領域は何ですか？ 現時点で、あなたの人生や生活をより楽しく*したり、あるいは悲しくすると考えられる事柄、つまりあなたの生活の質を決定していると感じている領域を5つ挙げてください。」

質問の意味を回答者が理解しない場合は、次のように言い換える。

「あなたの生活の中で、何が一番大切ですか？

どんな事柄がもっとも大切ですか？ たとえば、私の人生の中で最も大切なのは・・・」

具体的なもの、人ではなく、領域を引き出すこと。例えば「妻」ではなく、「結婚」というように。例は挙げないこと。

回答者にとってのそれぞれの「キュー」が意味していることを、この段階でキュー定義記録用紙に記録しておく。重要な“生活の質”の領域として、回答者がどう意味づけてキューとしてあげたか定義を明確にしておく。例えば、回答者が「ゴルフ」をキューとしてあげた場合、これはおもに余暇活動性に関連していると同時に、社会活動性や身体活動性にも関連しているに違いないだろう。また、「宗教」がキューとしてあげられた場合、スピリチュアルな生活に関係しているかもしれないし、教会へ行くことができるといった身体的能力とか、教会で友人に会うといった社会的側面に関係しているかもしれない。このことを明白に定義しておくことはその後連続してデータを収集・評価する際に特に重要となる。また同じ回答者を将来、再度面接する場合、キューが意味するものが同じかどうか確認するために再評価しなければならないので、特に重要といえる。

回答者があげたキューの意味している内容を定義する際には、あくまでも、回答者が名づけたキューを面接者が採用すべきで、回答者が言っている内容を解釈し、名称の変更はしてはならない。

もし、回答者が“生活の質”に類似したキュー（たとえば、満足感、生活の質といった）を自発的にあげたなら、より具体的なものを挙げてもらうべきである。但し“幸福、生活姿勢、士気（意気込み）”などは許容範囲とする。

どうしても、いくつか提案をする必要がある場合は、既に回答者が挙げたものを除き、次の「キュー」リストを読む：(家族、親族や友人との関係、健康、家計、生活の境遇、仕事、社会的な生活、余暇活動、宗教／スピリチュアルな生活)。このリストはある一定範囲の複数の母集団から得られたもので、よく挙げられる「キュー」を頻度順にあげたものである。例をあげて促すことがどうしても必要になるような状況では、このリストを使うことで、面接者間の一貫性が確保できるだろう。

◎ステップ3：レベル（水準）を決定する

回答者に次のように言う。

「いま、あなたの人生または生活において、もっとも大切な5つの領域を答えていただきましたが、これからあなたにお願いするのは、現在、各領域（キュー）がどのような状態かを評価することです。まず評価の方法をご説明しましょう。」

回答者の前にサンプルのキューレベル記録用紙を出す。これによって回答者に、どのように「キュー」のレベルを評価するのかを理解させる。

「まず、このスコア用紙を見てください（指し示す）。ご覧の通り、下の方にスペースがあって、ここに例として私の生活の中で最も大切な5つの領域（キュー）が書き込めるようになっていきます（指し示す）。左側が尺度です（指し示す）。尺度は“考えられる最低”から“考えられる最高”まであり、その間に、大変低い、低い、どちらでもない、高い、大変高いとなっています。」

「まず私を例にとりますと、私の生活の中で最も重要なものをXとします（まだ回答者が挙げていないものを「キュー」とし、スコア用紙の下の最初のスペースに書き込む）。もしこれが現在大変よい状況なら、このように棒グラフの棒を描きます（だいたい80mmぐらいの高さに棒を引く）。横の尺度にあわせて（指し示す）、棒の高さを決めます。棒の高さが低いものほど、その領域が私の生活においてあまりよい状況でないと自分で評価していることを意味し、棒の高さが高いものほど、よい状況であると評価しているということを意味します。この棒の高さが真ん中の場合は、その領域の自分の評価は良くも悪くもなく、ほぼ中間であると考えているということです。」

すぐ、残りの「キュー」に対して評価を進める：

二番目の「キュー」には、

「次に、もしX₂（回答者がまだ挙げていない「キュー」をここで用い、二番目のスペースに書き込む）がこれ以上ないくらいよい状況であれば、このように棒を描きます（およそ100mmの高さまで棒を引く）。」

三番目の「キュー」には、

「次に、X₃（回答者が挙げていない項目をここで用い、三番目のスペースに書き込む）が、大変悪い状況であれば、このようにします」（15mmぐらいの高さに棒を引く）。

四番目の「キュー」には、

「X₄（回答者が挙げていない項目をここで用い、四番目のスペースに書き込む）がちょうど

まあまあ、半々くらいであれば、このように書きます」(棒をおおよそ50mmの高さに引く)。

五番目の「キュー」には、

「X₅はこのようなです(回答者が挙げていない項目をここで用い、五番目のスペースに書き込む)。—(適当な評価を設定してランダムに記入する)」

“これで、現在、私が考えているといえる生活の図の準備ができました。”

◎ステップ4：現在の生活の評価を引き出す

面接者と回答者の間にキューレベル記録用紙を置く。回答者が挙げた5つのもっとも大切な領域(キュー)をスコア用紙のボックスの下決められた位置に書き込む。ペン又か鉛筆を回答者に渡す。

回答者に次のように言う。

「さて、先ほどお示ししましたように(指し示す)、あなたの生活における最も大切な5つの領域を評価してみてください。まず、現在、それぞれの領域について自分自身で評価したとおり、棒を描いてみてください。先ほども申しましたが、下の線に棒が近いほど、そのキュー(領域)はより悪い状況であると評価され、上の線に棒が近いほど、そのキュー(領域)はより良い状況であると評価しているということです。」

回答者に棒グラフを描いてもらう。

◎ステップ5：直接的に重み付けをする手法(DW)

回答者に次のように言う。

「今度は、先ほどあなたが挙げた5つの生活の領域が、相互の関連のなかで、どのくらい重要かをこのディスクを使って私に示してください。(SEIQoL-DWのディスクを指し示す)。人はしばしば生活のある領域を別の領域よりも重要だと考え、順位をつけています。あなたの生活の中で、先ほど挙げた5つの重要領域が、それぞれどのくらい重要なのか、このディスクを使って、割合で私に示してください。面積が広いものほどあなたにとって重要度が高く、狭いものほど重要度が低いということで、各領域の相対的な重要度が一目でわかるようにしたいと思います。例えば私の生活では、X(回答者がまだ挙げていない「キュー」の中から選ぶ)がこれくらい重要であるとします(Xが円全体の30%となるようにディスク回転させる)。一方X₂はXよりも重要度が低いので、円全体のこの程度を占めます(X₂が全体のスペースの20%となるようにディスクを回転させる)。X₃はXよりも重要度が高いので、こうなります(X₃が全

体の40%となるようにディスクを回す)。最後に X_4 と X_5 について、これらは生活の中でどちらも重要度が最も低いので、ほぼ同じように評価します (X_4 および X_5 が全体の5%を占めるようにそれぞれディスクを回転させる)。さて、今度はあなたが先ほど挙げた5つの重要な領域について考えてみましょう。(5つの「キュー」を、5色のディスクの切り口の端にペン(消せるタイプのもの)でそれぞれ記入する。この時、ペンではなく、ポストイットのようなものを使用してもよい。)このようにディスクを動かして、自分にとってそれぞれの領域の重要度がどうなっているのかを比較しながら、私に示してみてください。」

2.2 実施上おきうる問題

SEIQoL実施において、最もよく見られる問題点を次に示す。

- 生活の重要領域を挙げる場面

回答者が5つの「キュー」を挙げられない。

解決策:「キュー」提案リストを使う。

- 「キュー」のレベルを決定する場面

回答者が、棒で評価する際に、その領域が現在どのくらいよい状況かではなく、その領域がどれだけ重要かを評価してしまう。

解決策: 回答者にもう一度、この課題は「その領域について、現在どの程度よい状況か評価するものだ」ということを気づかせる。

- 「キュー」の重みづけを行う場面

回答者が、現在それがどれだけよい状況かについて評価し、円グラフとして表示しようとする。

解決策: 回答者にもう一度、この課題は5つの重要領域が、現在どの程度自分にとって重要かについて相対比較するものだ」ということを気づかせる。

3.1 スコアの記録

面接記録用紙への記入：

- 回答者が課題完了に要した時間
- 回答者がこの方法をどの程度まで理解できたかについての面接者の評価
- 課題中に回答者が疲れたり、意欲をなくしたように面接者が感じたかどうか
- 得られたデータの妥当性についての面接者の全体的な評価
- それぞれのキューについてSEIQoL-DWに対応する重みをスコアとして記入

3.2 SEIQoLアウトカムデータを導く

- (i) 「キュー」のラベル（名称）およびその定義
- (ii) 「キュー」のレベル（水準）の決定
- (iii) 「キュー」の重み付け
- (iv) SEIQoLインデックス

(i) 「キュー」のラベル（名称）および定義

ステップ2（回答者が最も重要な5つの生活領域を挙げる）の間、回答者の挙げた「キュー」を、キュー定義記録用紙にラベルとして記入し、その回答者にとってその「キュー」が具体的に何を意味しているのか要点を書き込む。例えば同じ“宗教”を「キュー」のラベル（名称）とする回答者の場合でも、それがスピリチュアルな活動としてなのか、社会活動（教会で知人に会う）としてなのか、或いは身体的活動（教会へ歩いていくことができる）としてなのか意味はいろいろである。定義付けは、連何回も連続して評価を行う場合に「キュー」が何を意味していたのかを理解する際に重要である。グループ化されたデータのプレゼンテーションにおいて、複数の回答者の「キュー」を集計する際にも重要となる。

(ii) 「キュー」のレベル（水準）

「キュー」のレベル（水準）は、ステップ3の段階で、回答者が5本の棒をキューレベル記録用紙に書き込めば明らかになる。レベルの評価は、それぞれの棒が垂直に何mmの長さであるかを基準とし、この値をスコアとする。これにより0～100の範囲で、5つの独立連続量としてスコアが得られ、このスコアはパラメトリックな統計分析に利用できる。

(iii) 「キュー」の重み

SEIQoL-DWの重みの算出は、緑のディスクの端をメモリのゼロの位置に揃え、5つの

「キュー」の重みを、それぞれディスク外側のメモリ0～100を利用して読み取る。読み取った重みはそれぞれ100で割っておき、0.00～1.00の間におさめ、後述のSEIQoLインデックスの計算つまり、オーバオールインデックス（キューのレベル×キューの重み）の合計が0～100の範囲になるようにする。

(iv) SEIQoLインデックス

SEIQoLはもともと個人のQOL評価を意図している。しかし、グループ間の比較が必要な場合は、グローバルインデックスが算出可能である。被験者内、被験者間の研究デザインで利用可能であり、このインデックスは0～100までの連続量なのでパラメトリックな統計分析に利用できる。前述の方法にしたがい、5つの「キュー」のレベルと重みから、次の式でSEIQoLのインデックスを算出できる。

- それぞれの「キュー」すべてについて、「キュー」のレベルと重みを掛け合わせ積をもとめ、総計する：SEIQoLインデックス＝ Σ （レベル×重み）

常に注意を払うべきこととしては、「キュー」の“レベル”と“重み”は独立して変化し、その積の合計としてこのインデックスは解釈されるべきである。回答者ごとに“レベル”と“重み”の間にある種の傾向がある場合はそれを踏まえてこのインデックスを解釈すべきである。

3.3 データの表示

各回答者から得られたデータは、回答者が挙げた「キュー」、そのレベルとその重みを表形式で表すとよいだろう。データをグループ化するためには、SEIQoLインデックスのスコアを含めればよいだろう（McGeeらによる論文（1991）、O'boyleらによる論文（1992）を参照。

3.4 前向き研究（prospective study）でのSEIQoL-DWの使用について

前向き研究の場合やSEIQoL-DWを用いて時間が過ぎてから介入を評価する場合に、推奨される実施方法としてはアセスメントのたびに新しい「キュー」を挙げてもらうことである。最初のアセスメントで挙げた「キュー」を回答者に伝えたうえで、SEIQoL-DWを再度実施すべきである。こうすることで、最初とその次のアセスメント間の直接比較を促すことが容易になる。

面接記録用紙

1. かかった時間

2. 方法の理解度

まったく理解していなかった

理解度が低かった/理解度不明

理解していた

3. 疲労/意欲低下

なかった

少しあった

非常にあった

4. 全般的なデータの妥当性（2および3に関連して）

全く妥当でない

不明

妥当である

5. 各キューの重み

キュー1：重み（%）

キュー2：重み（%）

キュー3：重み（%）

キュー4：重み（%）

キュー5：重み（%）

6. SEIQoL Index

キュー	レベル	重み	レベル×重み
1			
2			
3			
4			
5			

Index

キュー定義記録用紙

キューの定義、内容の記載	キューの名称
1.	
2.	
3.	
4.	
5.	

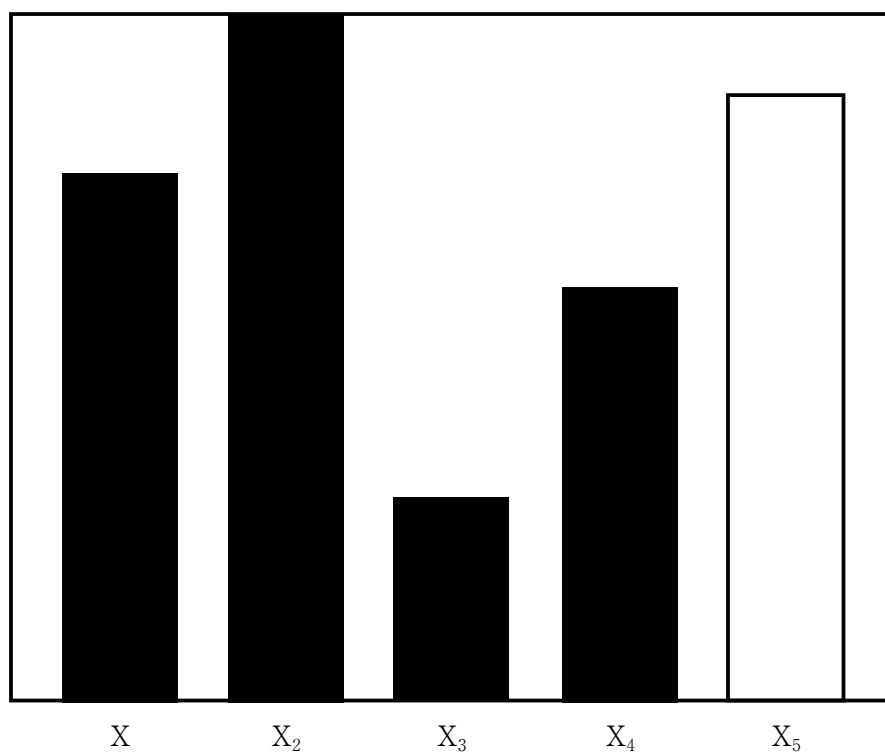
(回答者にリストを読み上げて挙げられた「キュー」はチェックすること)

キューレベル記録用紙

(記入見本)

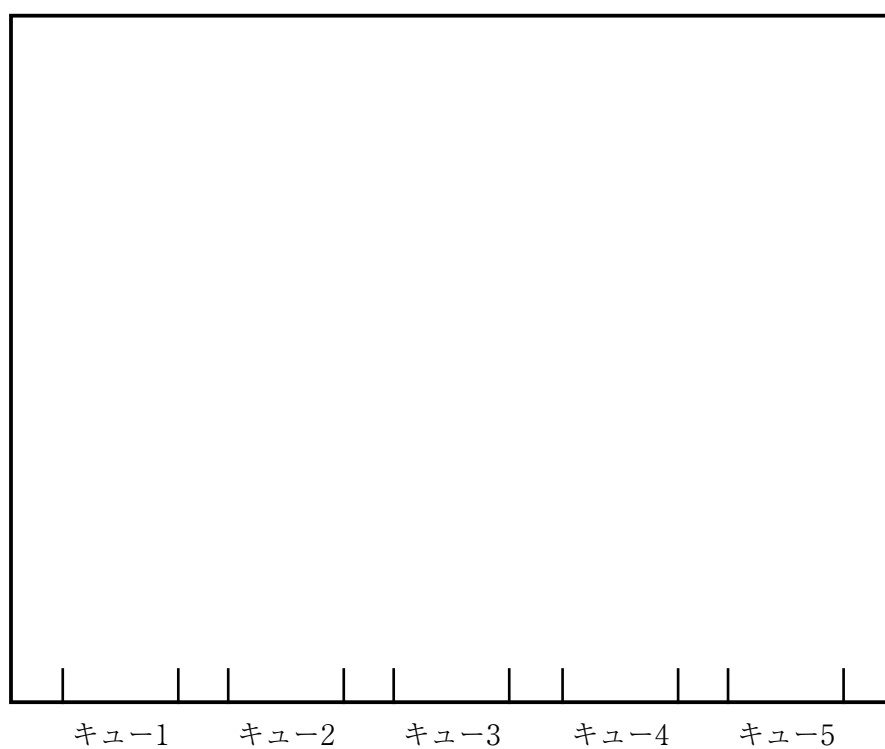
考えられる最高

考えられる最低



考えられる最高

考えられる最低



References

O'Boyle C A, McGee H M, Hickey A, Joyce C R B, Browne J, O'Malley K, Hiltbrunner B. *The Schedule for the Evaluation of Individual Quality of Life (SEIQoL): Administration Manual*. Dublin: Royal College of Surgeons in Ireland, (1993).

McGee H M, O'Boyle C A, Hickey A, O'Malley K and Joyce C R B. Assessing the quality of life of the individual: the SEIQoL with a healthy and a gastroenterology unit population. *Psychological Medicine* 1991;**21**:749-59.

O'Boyle C A, McGee H M, Hickey A, O'Malley K and Joyce C R B. Individual quality of life in patients undergoing hip replacement. *Lancet* 1992;**339**:1088-91

O'Boyle C A. Assessment of Quality of Life in Surgery. *British Journal of Surgery* 1992;**79**:395-398

Coen R F, O'Mahony D, O'Boyle C A, Joyce C R B, Hiltbrunner B, Walsh J B and Coakley D. Measuring the quality of life of dementia patients using the Schedule for the Evaluation of Individual Quality of Life. *Irish Journal of Psychology*, (Special Issue on the Elderly) 1993;**14**:154-63

O'Boyle C A. The Schedule for the Evaluation of Individual Quality of Life (SEIQoL). *International Journal of Mental Health* 1994;**23**:3-23

Browne J P, O'Boyle C A, McGee H M, Joyce C R B, McDonald N J, O'Malley K, Hiltbrunner B. Individual quality of life in the healthy elderly. *Quality of Life Research*. 1994;**2**:235-44

Joyce C R B. How can we measure individual quality of life? *Schweizerische Medizinische Wochenschrift* 1994;**124**:1921-6

O'Boyle C A, McGee H M, Joyce C R B. Quality of life: assessing the individual. In G Albrecht and R Fitzpatrick (eds.) *Quality of Life in Health Care*. New York:JAI Press (1994).

Hickey A M, Bury G, O'Boyle C A, Bradley F, O'Reilly F D, Shannon W. (1996) A new short-form individual quality of life measure (SEIQoL-DW): application in a cohort of individuals with HIV/AIDS. *British Medical Journal* **313**:29-33

Browne JP, O'Boyle CA, McGee HM, McDonald NJ, Joyce CRB. Development of a direct weighting procedure for quality of life domains. *Quality of Life Research* 1997; **6**:301-309.

記 録 用 紙

ここからは記録用紙です。

3回分あります。切り取ってお使い下さい。

面接記録用紙

1. かかった時間

2. 方法の理解度

まったく理解していなかった

理解度が低かった/理解度不明

理解していた

3. 疲労/意欲低下

なかった

少しあった

非常にあった

4. 全般的なデータの妥当性（2および3に関連して）

全く妥当でない

不明

妥当である

5. 各キューの重み

キュー1：重み（%）

キュー2：重み（%）

キュー3：重み（%）

キュー4：重み（%）

キュー5：重み（%）

キュー定義記録用紙

キューの定義、内容の記載	キューの名称
1.	
2.	
3.	
4.	
5.	

(回答者にリストを読み上げて挙げられた「キュー」はチェックすること)

キューレベル記録用紙

考えられる最高

A blank coordinate system with a horizontal axis. The axis is marked with 10 tick marks. Below the axis, the following labels are written from left to right: キュ-1, キュ-2, キュ-3, キュ-4, and キュ-5. The labels are positioned below the 1st, 3rd, 5th, 7th, and 9th tick marks respectively.

考えられる最低

キユ-1

キユ-2

キユ-3

キユ-4

キユ-5

6. SEIQoL Index

キュー	レベル	重み	レベル×重み
1			
2			
3			
4			
5			

Index

□

面接記録用紙

1. かかった時間

2. 方法の理解度

まったく理解していなかった

理解度が低かった/理解度不明

理解していた

3. 疲労/意欲低下

なかった

少しあった

非常にあった

4. 全般的なデータの妥当性（2および3に関連して）

全く妥当でない

不明

妥当である

5. 各キューの重み

キュー1：重み（%）

キュー2：重み（%）

キュー3：重み（%）

キュー4：重み（%）

キュー5：重み（%）

キュー定義記録用紙

キューの定義、内容の記載	キューの名称
1.	
2.	
3.	
4.	
5.	

(回答者にリストを読み上げて挙げられた「キュー」はチェックすること)

キューレベル記録用紙

考えられる最高

A large empty rectangular box with a thick black border, intended for drawing a diagram.

考えられる最低

キユ-1

キユ-2

キユ-3

キユ-4

キユ-5

6. SEIQoL Index

キュー	レベル	重み	レベル×重み
1			
2			
3			
4			
5			

Index

面接記録用紙

1. かかった時間

2. 方法の理解度

まったく理解していなかった

理解度が低かった/理解度不明

理解していた

3. 疲労/意欲低下

なかった

少しあった

非常にあった

4. 全般的なデータの妥当性（2および3に関連して）

全く妥当でない

不明

妥当である

5. 各キューの重み

キュー1：重み（%）

キュー2：重み（%）

キュー3：重み（%）

キュー4：重み（%）

キュー5：重み（%）

キユ一定義記録用紙

キューの定義、内容の記載

キューの名称

1.

2.

3.

4.

5.

(回答者にリストを読み上げて挙げられた「キュー」はチェックすること)

キューレベル記録用紙

考えられる最高

考えられる最高

考えられる最低

キュー1 キュー2 キュー3 キュー4 キュー5

6. SEIQoL Index

キュー	レベル	重み	レベル×重み
1			
2			
3			
4			
5			

Index

Web でのマニュアルの提供上の注意と御願い

SEIQoL-DW は開催されるセミナーや研修会を受講してから、適切に利用してください。

利用前に下記のSEIQoL-DW 事務局にご登録し、利用を開始してください。

登録によって、

- ・ カラーディスク（表紙の画像）を送付します（実費1500 円）。標準的な方法としてこのディスクを必ずお使いください。
- ・ 登録者ユーザには研修会、セミナーのご案内などの情報提供をおこないます。（情報は <http://seiql.jp> またはメール等にて提供します。）
- ・ SEIQoL-DWの学会発表や論文作成の際には、この日本語版を引用してください(SEIQoL-DW日本語版、初版、秋山美紀訳、大生定義、中島孝監修、2007 年3月発行、SEIQoL-DW事務局)。
- ・ SEIQoLに関する学術活動の結果、論文、報告、研究会など情報を可能な限り事務局にご提供のほど御願います。必要に応じてユーザ登録者にご紹介、ご案内します。
- ・ 本マニュアルに脚注を追加し、暫定的な内容がないため、暫定版という記載を初版に改めました(2018年2月)。

2007年3月16日
2018年2月1日追記
大生定義および中島孝

特定疾患患者の生活の質（Quality of life,QOL）の向上に関する研究班（H17-難治-39）

主任研究者 中島孝（nakajima@niigata-nh.go.jp）

SEIQoL-DW 事務局 植村・牧野・小林 e-mail : kenkyuuhan@niigata-nh.go.jp

独立行政法人国立病院機構新潟病院 〒945-8585 新潟県柏崎市赤坂町3番52号

FAX : 0257-22-7677 TEL : 0257-22-2126（内線1259）、0257-22-2185（直通）

SEIQOL-DW 日本語版(初版)

2007年3月発行

訳 / 秋山（大西）美紀

監訳 / 大生定義・中島 孝

発刊は、特定疾患患者の生活の質（Quality of life,QOL）の向上に関する研究班（H17-難治-39）の研究費による援助によった。